

# おだか

第33号

2016

平成28年3月2日(水)

南相馬市

小高小学校

学校だより

3月に入り暖かい日が戻ってきました。授業日は、今日を含め15日を残すのみとなり、それぞれの学年が進級、進学に向けて学習のまとめを行っています。インフルエンザの猛威はなかなか衰えず、マスクを着用させ、うがい、手洗いの励行に努めていますが、ご家庭でも、引き続きお子様の健康維持にご協力くださいますようお願い申し上げます。



## 大なわ大会

2月24日(水)の昼休みに、体育委員会主催の「大なわ大会」を行いました。

学年対抗で、2分間、大なわをとび続け、とんだ回数を競います。

去年は、卒業した6年生が165回でトップを取りましたが、今年は、3年生が6年生に次いで2位と健闘しました。5年生も去年の記録の倍以上の回数をとび、それぞれに力を伸ばしている



大なわをとぶ3年生

様子うかがえます。1年生は児童数が少ないことや初めての大なわ大会ということもあり、これから力をつけてくるものと思います。

大なわ大会は、チームワークも大切です。なわに入るタイミングを後ろの子どもたちが背中を押して教えたり、なわを回す子どもたちが速さを工夫したりして、つながりも深まったようです。

### 昨年の記録

学年	記録(回)	学年	記録(回)
1年	64	4年	59
2年		5年	131
3年	98	6年	165

### 今年の記録

学年	記録(回)	学年	記録(回)
1年	39	4年	129
2年		5年	122
3年	137	6年	165



# 平成27年度学力調査の結果について

南相馬市では、1年の学習の定着を知り次の学習に生かすため、学力調査を全学年対象に実施しています。教科は、国語と算数の2教科で、1月に実施しました。学力は、目標値を参考に正答率を校内と全国で比較して考察しましたが、児童数が10名以下の学年もありますので、平均の数値を見るだけでなく、正答できなかった問題の傾向を個別に見ることも必要と考えています。個別の診断シートは、3月4日（金）の授業参観の日に担任よりお渡しいたします。

概略を以下にお知らせします。

## 【国語科】

6学年中4つの学年が、目標値や全国の正答率を上回りました。基礎と活用の力を比べると、まだ活用の力を伸ばす必要があります。活用の力とは、複数の資料を読み比べながら考えを深めたり、資料をもとに自分の考えをわかりやすく構成して伝えたりするなどの力です。領域別に見ると、やはり「読むこと」「読む能力」が本校の課題のようです。読書量と比較すると、正答率が高い学年はよく本を読んでいることがわかります。全体的に正答率の高い領域は「書くこと」「書く能力」でした。

## 【算数科】

6学年中3つの学年が、目標値や全国の正答率を上回りました。基礎と活用の力を比べると、基礎的な力がまだ不足しているという学年がありました。数と計算における力を繰り返し練習させる必要を感じました。繰り返しには、時間が必要です。学校だけでなく、家庭学習の中でご協力いただければ幸いです。

領域別に見ると、「数学的な考え方」の正答率が複数学年で低いことがわかりました。四則計算とともに、どの場面でどのような立式ができるのかが大切です。文章から、求められている事柄を見極める力もつける必要があります。まとめの授業の中で補充していきたいと思います。全体的に正答率が高い領域は、学年によってそれぞれでした。

## 【今後に向けて】

それぞれの個別の診断シートをもとに、正答率が低かった問題を確認、学力の不足している部分を埋めるよう学級で取り組んでいきます。また、授業が難しいと感じる児童には、個別の指導だけでなく、グループで取り組む学習などから、授業に興味や関心を持ち続けられるよう工夫してまいります。

## 小高区4小学校に支援金



支援金を届けていただいた皆様

2月23日（火）、きずな診療所の鶴島様がおいでになり、昨年10月に行われた「南相馬市復興支援 ナターシャ・グジーコンサート」で集めた支援金を小高区4小学校に届けていただきました。

今後の教育活動の中で、子どもたちのために役立てたいと思います。

ありがとうございました。